

修正案提案理由説明(再任用関係予算)

議案第八十一号一般会計補正予算(第二回)について、再任用制度に係る職員人件費分を減額修正する。今回先議案件に提案された補正予算は、主に職員の再任用制度の運用開始に係る経費であるが、制度運用に当たっては行財政改革の推進、とりわけ東大阪市集中改革プランの完全実施が必須の条件となっている。しかし市長は、四年間の市政を担当するに当たって示された所信表明の中で、職員数計画など行財政改革には全く触れておらず、国との約束でもある集中改革プランの完全実施も明言されていない。さらに具体的な人事政策も示されず、全く先の見えない状態である。十分な説明責任も果たさないうち、このような市長の姿勢のもとで提案された再任用制度の運用に係る経費の計上は、到底認めるところではない。よって再任用制度運用に係る一億一千五百八十二万円を減額し、嘱託経費一億八百三十六万円を減額しない修正を行うものである。なお、同時に補正予算に

討論

公明党 自由民主党 自民党市政刷新クラブ

計上されている、魅力ある商店街づくり事業における瓢箪山駅周辺商店街へのモニユメント設置経費については、商店街活性化に有効な事業であるので、原案どおりとするものである。公明党、自由民主党、自民党市政刷新クラブは一般会計補正予算は原案に反対し修正案に賛成、国民健康保険・公共下水道・介護保険・水道・病院事業会計の職員再任用に係る人件費の補正予算に反対する。定年退職した職員の再任用については、全体的な職員数計画と密接に関連している。団塊世代の大量退職への財政面の対応も必要である。その意味では行財政改革の断行なくしてあすの東大阪市はない。しかし市長は、そのための集中改革プランは尊重すると言いつつながらプランどおり実施するという答弁は避けている。

先議議案の会派態度表 (賛成 × 反対)

Table with columns for party names (公明党, 自由民主党, 自民党市政刷新クラブ, リベラル東大阪, 共産党) and rows for various budget items. It indicates support (x) or opposition (blank) for each item.

今議会で審議未了となった議案一覧

Table listing various budget items that were not discussed in the current session, including items from previous years and specific departmental budgets.

リベラル東大阪

加えて、重要な案件にもかかわらず先議案件として上程するという強硬な手法をとっている。議会での審議時間が十二分に保障されず、再任用に係る人件費について、審議に必要な資料の提出もない。市長が九月議会の招集日をおくられたのは、十分な議会審議をさせたくないという意図があるからだと思われるも仕方がない。また市長は市民の暮らしを守る言いながら、職員組合の方が大事だと思つての上程ではなかったのか。

共産党

再任用制度の運用は到底議会人として認められない。以上理由から、今回の再任用制度の運用は到底議会人として認められない。一般会計補正予算を初めとする再任用関連予算六案件に賛成する。本年の三月議会において長年の課題であった再任用制度を議会は了としてきた経緯がある。再任用制度については、正職員の採用数を削減し、制度を活用することによって多額の財源確保が図られ行財政改革に大きく寄与するものである。なお、退職金の支給年齢は制度の活用時において議論を深めたい。制度活用においては、十分議会としての監視機能を発揮すべきであり、その効果が得られなければ中止、または一時停止の姿勢で対応する。